

キャリアアップ支援セミナー&異業種交流会

9月1日（月）、キャリアアップ支援セミナーを島根大学で開催しました。今回は、国際連合大学上級副学長／国際連合事務次長補である白波瀬佐和子先生を講師にお迎えし、「少子化とジェンダー平等：職場と家庭のジェンダーギャップ」と題してご講演いただきました。

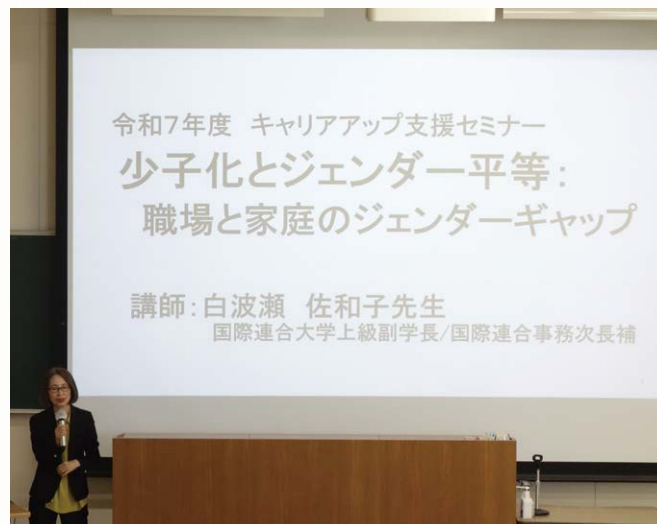
本年度も、島根大学教職員に加え、SAN'INダイバーシティ推進ネットワークの共同実施機関・協力機関をはじめ、地域の皆様など約60名の方々にご参加いただきました。

セミナーではまず、日本の人口推移や少子高齢化の現状、世界各国の出生率、若年層の晩婚化・未婚化などについて、豊富なデータをもとに白波瀬先生からご説明いただきました。これらの統計を踏まえながら、先生の丁寧な解説を通じて、現代社会が抱える課題への理解を深めることができました。

また、女性が理系分野に少ない背景については、能力の問題ではなく、ロールモデルの不足が要因の一つであり、伝統的なジェンダー規範に基づく役割期待からの脱却が必要であることを教えていただきました。事前に参加者の皆様から寄せられた質問にも、先生は一つひとつ丁寧にご回答くださり、参加者の関心に寄り添った充実したセミナーとなりました。

セミナー終了後は、学食に場所を移して第4回「異業種交流会」を開催しました。白波瀬先生、大谷学長をはじめ、地元企

業の方々や本学教職員が参加し、名刺交換をしながら女性活躍推進に関する情報交換を行いました。短い時間ではありましたが、参加者同士が自身の職場での役割や雰囲気、ワークライフバランスなどについてざっくばらんに語り合い、大変有意義な交流の場となりました。



SUN'IN Girlsの活躍

SUN'IN Girlsは理系の女子学生（大学生、大学院生）による組織で、女子中高生に対し、理系分野の魅力や楽しさを伝える「身近なお姉さん」としてロールモデルとなり、理系進路や研究キャリアの選択を支援するための様々な活動を行っています。

SUN'IN Girls 募集2025イベント

4月9日、今年度のSUN'IN Girls 募集イベントを開催しました。

島根大学総合理工学部および自然科学研究科の女子卒の新入生を中心に、すでにSUN'IN Girlsとして活動している先輩学生を含む23名がFLATに集まりました。担当教員からSUN'IN Girlsの趣旨や今年度の活動計画について説明後、参加者同士で自己紹介を行い、理系分野を選んだ理由を語り合ったり、連絡先を交換したりと、和やかな雰囲気の中で交流を深めました。



東北大学サイエンス・アンバサダーと 島根大学SUN'IN Girlsの交流ランチ会

5月7日、東北大学サイエンス・アンバサダー（SA）と島根大学SUN'IN Girlsとの交流ランチ会（オンライン）を開催しました。

東北大学SAは、科学の魅力を小中高校生に伝え、身近なロールモデルとして次世代の研究者を育成することを目的に、東北大学に所属する女子大学院生で構成されています。

今回は、東北大学ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン（DEI）推進センター長の田中真美先生よりご自身の経歴や研究者としての歩みについてお話いただいた後、3名のSAより活動紹介がありました。科学イベントやオープンキャンパスでの活動はどれも魅力的で、SUN'IN Girlsの皆さんはランチの手を止め、熱心に耳を傾けていました。短い時間ではありましたがSAのお話を通して、SUN'IN Girlsの皆さんにとって今後の活動への夢と希望が大きく膨らむ貴重な機会となったことと思います。



Cathie Rae先生との交流ランチ会

7月15日、来学にあわせてケンブリッジ大学教授 Cathie Rae先生（本学次世代たたら協創センター（NEXTA）客員教授）と島根大学SUN'IN Girlsとの交流ランチ会を開催しました。まず、Rae先生からご自身の研究内容や研究者キャリアについて、苦難を乗り越えながらもすべてのチャンスを生かし、研究者としてキャリアを積んで来られた経験をお話いただきました。Rae先生のお話を伺ったSUN'IN Girlsの学生は「自分の研究分野は実験や観察など個人で行うことが多いが、Rae先生の話聞いて、他者と協働する良さを理解できた」「自分はいろいろ興味があり現在勉強しているが、自分の研究分野を1つに絞るのに不安がある」等発言があり、先生からは丁寧に一人一人が一層の希望をもって未来を描くことができるよう力強い励ましをいただきました。今回の交流ランチ会には、SUN'IN Girlsや若手の女性教員や大学院生など12名が参加しました。



松江南高等学校 ティーチングアシスタント

6月11日から、松江南高等学校2年生普通科理系選択3クラスの生徒を対象にした「未来創造リサーチandアクションプログラム（RAP）応用A」の授業支援（1学期 毎週水曜日13:20～15:10）において、SUN'IN Girlsがティーチングアシスタントとして参加しています。1学期は合計8回、延べ44名が参加しました。2学期も9月から参加しています。



オープンキャンパスでの 進路相談

8月7日、オープンキャンパスにおいて女子高生や保護者に対し、SUN'IN Girlsが自然科学分野の魅力や楽しさを伝え、理系進路や研究キャリアの選択を支援するための様々な活動を行っています。

SAN'INご縁ネットミーティング

分野を超えた研究ネットワークの構築や、研究アイデアのひらめき、新たな共同研究の創出につながる「場」づくりを目的として、「ご縁ネットミーティング」を開催しています。このミーティングでは、メンバーが自身の研究を中心に話題を提供し、それをもとに参加者同士でディスカッションを行うことで、学び合いながら交流を深める企画を実施しています。

第68回SAN'INご縁ネット 対面ミーティング

コロナ禍のためWebでのミーティングばかりでしたが、5月16日夕刻、久しぶりに対面でのミーティングを実施しました。今回は島根大学、松江高専等から18名の参加があり、本年度入職された女性研究者7名を囲み親睦を深めました。参加者からは「着任後不安もありましたが、こんなに素敵な女性研究者と学部を超えて交流ができて嬉しかった」「これからも参加して日頃気になったことを共有したい」など感想を述べられました。



第69回SAN'INご縁ネット対面ミーティング（Cathie Rae先生m）

7月15日、本学客員教授であるケンブリッジ大学のCathie Rae先生をお迎えし、第69回ご縁ネットミーティングおよび交流会を開催いたしました。

ミーティングには9名の研究者と大学院生が参加し、自己紹介に続いて各自の研究内容を紹介しました。Rae先生からは、研究と家庭の両立の工夫や、研究に継続して取り組む際に必要な視点や研究の発展性について、貴重なアドバイスをいただきました。

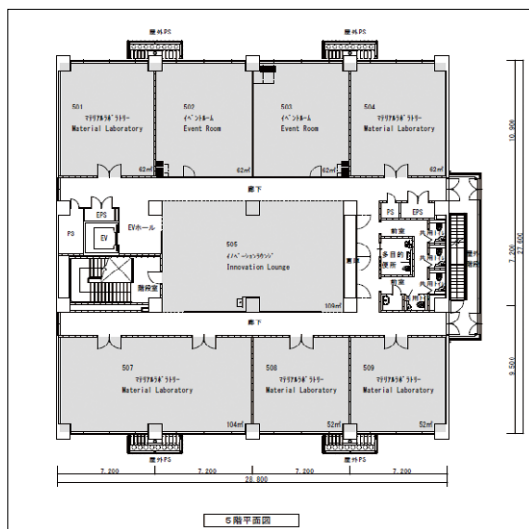
交流会では、学生教育や研究環境にも話題が広がり、時代の変化や日本と英国との文化の違いが大学教育や研究に及ぼす影響などについても活発な意見交換が行われました。Rae先生は、縦割りの研究体制ではなく、異分野の研究者が協働することで研究が大きく発展することを強調され、改めてダイバーシティの重要性を実感する機会となりました。



オールジェンダートイレの設置

本学では、多様な価値観や生き方を尊重する学内文化を醸成する取組の一環として、令和7年度新設された材料エネルギー学部棟5階にオールジェンダートイレを設置しました。

オールジェンダートイレとは、性別を問わず、だれでも利用できるトイレとして、他大学でも続々と設置されています。今回設置したトイレは各個室の壁を天井まで設置することで盗撮等の防犯性を向上するとともに、内部に手洗いと鏡を設け、プライバシーにも配慮した構造となっています。地域の共創拠点としてのイノベーション・commonsとして本学構成員はじめ外部の方にも幅広く利用していただくことができます。性別を区別しないバリアフリーの本取組が、地域への更なるダイバーシティ推進の一助になればと願っています。



研究サポーター開始

今年度も仕事と家庭の両立支援の一環として「研究サポーター配置制度」を実施しています。これは、育児や介護等によって研究時間の確保が困難な研究者に対して、大学が配置した研究サポーターが研究の補助業務を行う制度です。

今年度は9月以降、11人の研究者に配置が決定しました。

2025年度島根大学女性研究リーダー育成支援事業 (プロジェクト創出型)

島根大学ダイバーシティ推進室は、今年度も女性研究者による新たな研究プロジェクトの立ち上げを支援することで、学際力やプロジェクトマネジメント力を備えた女性研究者を育成することを目的にプロジェクト創出型の研究費支援を行いました。今年度は5件以内の支援を予定していましたが、応募者が多く急遽9件を採択しました。1件当たりの支援額は微々たるものですが、新たな研究の一助になれば幸いです。

- Enhanced Weathering of Daikonjima Island Basalts for Carbon Dioxide Removal [Silpa AMMINI SASIDHARAN (総合理工学部・助教)]
- ダメージコントロール手術を受ける重症外傷患者家族への看護支援の実際と課題 [辻 華子 (医学部・助教)]
- Developing a new type of recommendation system based on interdisciplinary research in the gaming area Extension (III) [鄭 雲珊 (総合理工学部・助教)]
- 安心安全なユビキタス社会を構築するための情報セキュリティ技術 [黄 緒平 (総合理工学部・助教)]
- A community-sourced visual guide for preserving waterfront views of old towns [Nguyen Tran Yen Khang (総合理工学部・助教)]
- AIを活用した学生によるコンテンツ生成・発信型外国語教育モデルの構築と地域活性化への展開 [王 欣 (外国語教育センター・特任講師)]

- 食道機能障害の多面的メカニズム解析に基づく心房細動アブレーションの安全性向上戦略：高周波 vs パルスフィールドアブレーション [三樹 祐子 (医学部・講師)]
- 血管平滑筋異常収縮に対する新規選択的阻害物質の同定と応用研究 [張 影 (医学部・助教)]
- 花き市場における電子取引導入と卸売市場のDX推進の可能性に関する研究 [末永 千絵 (生物資源科学部・助教)]

ワークライフバランスセミナー

「笑って元気に！笑い療法で心身のケアを学ぶ」

【講 師】笑医塾 塾長・小児外科医 高柳和江先生
(元日本医科大学准教授／癒しの環境研究所理事長)

【日 時】令和7年9月12日 (金)
18時00分～19時00分

【主 催】地域医療支援学講座内
「えんネット」

【共 催】島根大学ダイバーシティ推進室、島根大学
医学部ワークライフバランス支援室

【参加人数】対面51名Zoom20名



企業版父親学級を開催

令和7年9月1日に、米子高専の図書館2階にて、本校の男性教職員を対象とした「企業版父親学級」を開催しました。本事業は、鳥取県委託事業として県内の男性育児休業取得率の向上と子育てへの理解促進を図り、育児のスキルや知識定着を目的としたもので、事業委託先であるTottori Mama'sから講師を派遣して頂き開催されたものです。本校の男性教員3名と男性職員3名が参加し、出産・育児に関する講義や妊婦体験、赤ちゃんの抱っこ、沐浴・着替え等の指導を通じて、育児への理解や夫婦間の関わり方について学ぶ時間となりました。参加者からは、「手伝うではなく二人で育てていくという気持ちで取り組んでいきたい。」「出産後の流れを知ることができ、出産を少し身近に感じた。」「とっても良い取り組みなので、もっと沢山の男性に参加してもらいたい。」等の感想を頂きました。



多様性を兼ね備えたエンジニア育成に向けたものづくり授業の実施

令研究者を目指す者の裾野拡大の一環として、本校学生が松江清心養護学校に出向いて同校の障害のある生徒が生活の中で感じている問題を調査し、学生がものづくりを通じてそれを解決するという、多様性を兼ね備えたエンジニア育成に向けたものづくり授業を実施しました。

本校機械工学科3年「機械工作実習3」を履修した学生が、座位・膝立ち位支持具、吸引器用移動キャスターボックス、授業や遊びで利用できる大型ルーレットなど、計15点の製品づくりに挑むとともに、製品の仕様策定、設計や完成品の納品を通して学生と生徒が交流し、また、同校の教諭を審査員に含むプレゼン報告会も実施しました。

